

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-141676

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>B 05 C 5/00  
11/10

識別記号

庁内整理番号

A-7199-4F  
6804-4F

⑭ 公開 昭和63年(1988)9月19日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 シーラーガンの弁機構

⑯ 実 願 昭62-31283

⑰ 出 願 昭62(1987)3月4日

⑱ 考 案 者 小 谷 照 雄 愛知県豊田市吉原町上藤池25番地 荒川車体工業株式会社  
内⑲ 考 案 者 石 黒 和 一 愛知県豊田市吉原町上藤池25番地 荒川車体工業株式会社  
内

⑳ 出 願 人 荒川車体工業株式会社 愛知県豊田市吉原町上藤池25番地

㉑ 代 理 人 弁理士 岡田 英彦 外3名

## ㉒ 実用新案登録請求の範囲

弁座の弁孔内に突入された流量調整用の調整弁体を、この調整弁体の移動調整に伴って前記弁孔内に突入された突入部の体積が漸次変化してこの突入部と前記弁孔との間に形成された流路の容積が漸次変化するように形成したことを特徴とするシーラーガンの弁機構。

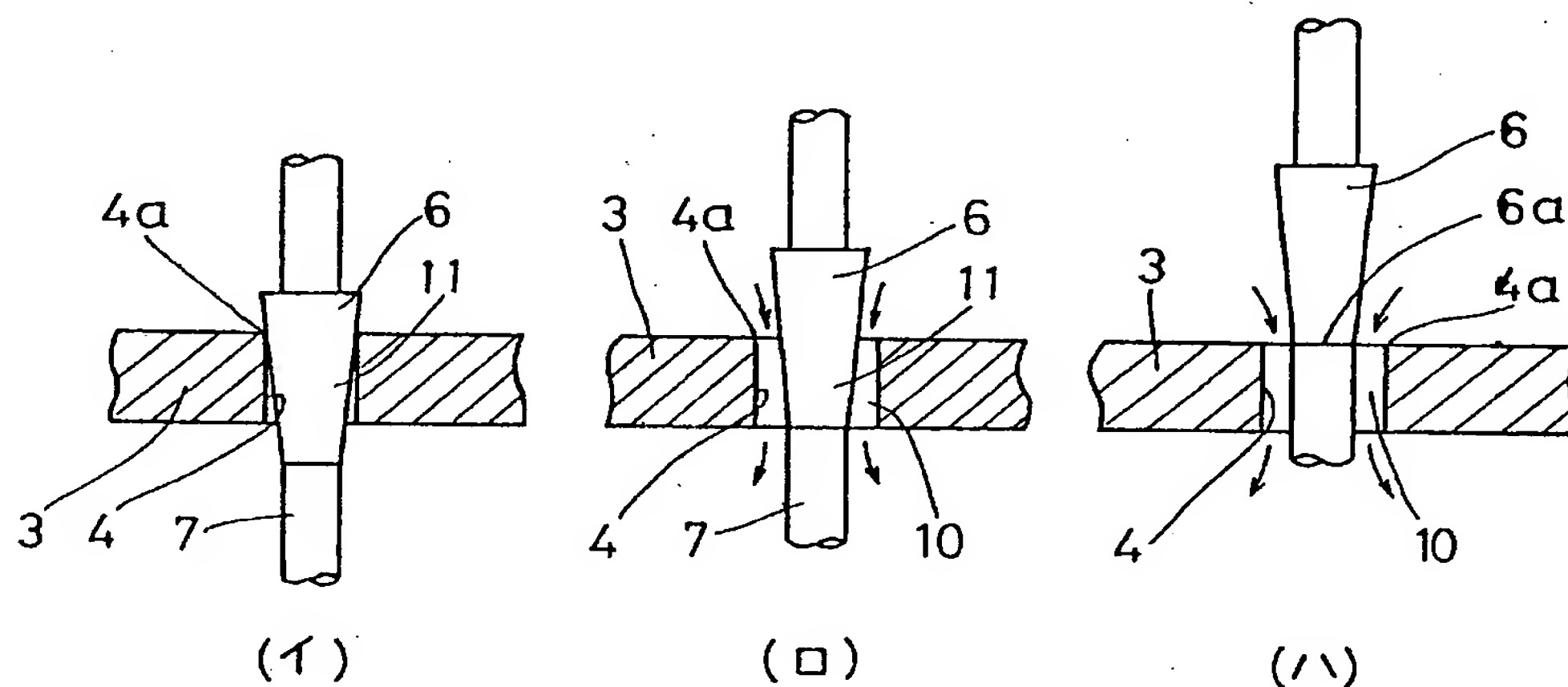
## 図面の簡単な説明

第1図～第3図は本考案の第1実施例を示すもので、第1図イ、ロ、ハはそれぞれ調整弁体の開閉動作を説明する要部の拡大縦断面図、第2図はシーラーガンの側断面図、第3図はシーラー吐出

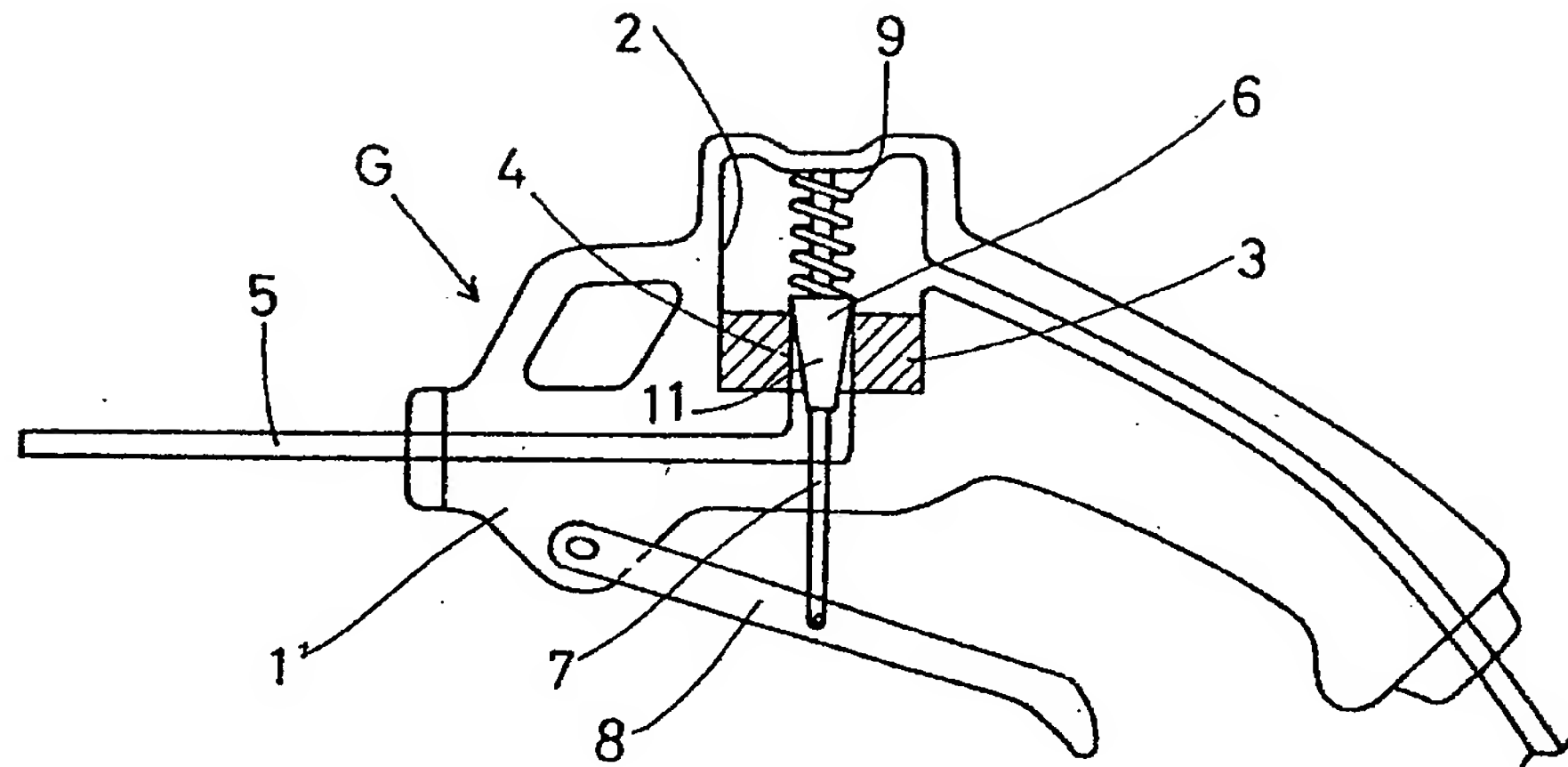
量と調整弁体の移動距離との関係を示す線図、第4図は第2実施例の調整弁体を示す斜視図、第5図イ、ロ、ハは同じく動作説明図、第6図は第3実施例の調整弁体の裏面図、第7図イ、ロ、ハ、ニは同じく動作説明図、第8図は従来の弁機構の縦断面図である。

3, 3A, 3B……弁座、4, 4A, 4B……弁孔、6, 6A, 6B……調整弁体、7, 7A, 7B……弁棒、10, 10A, 10B……流路、11, 11A, 11B……突入部、G……シーラーガン。

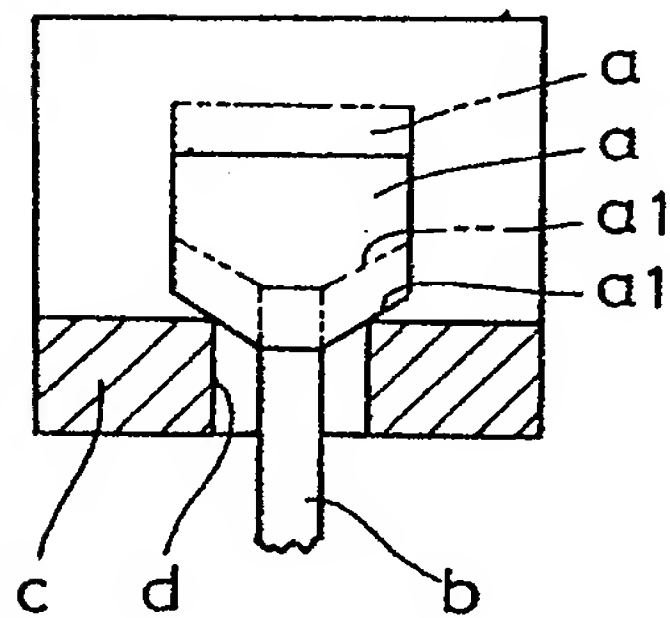
第1図



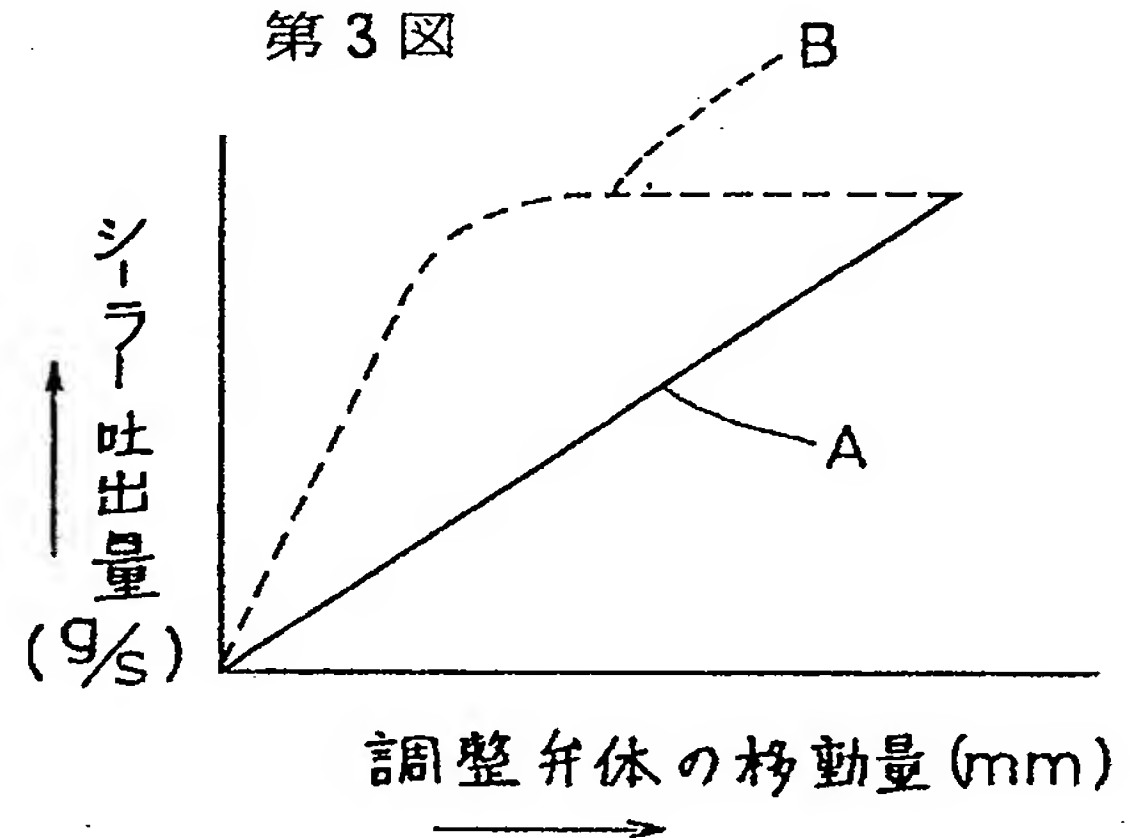
第2図



第8図

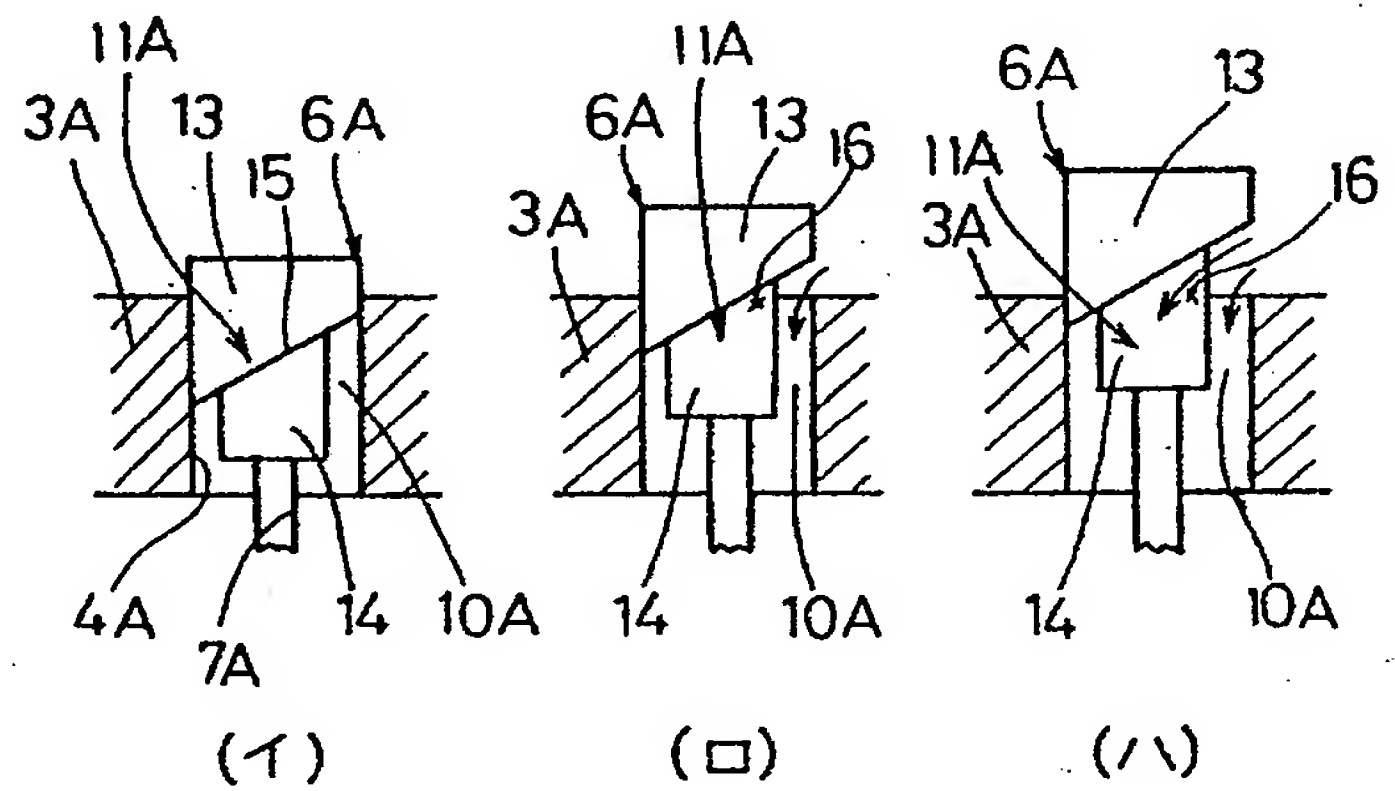
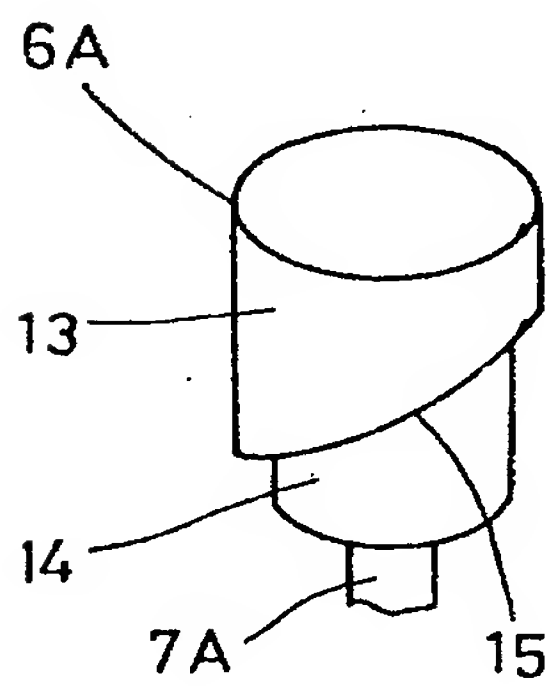


第3図

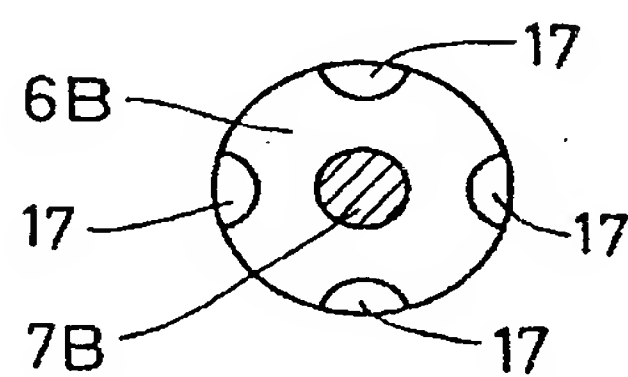


第5図

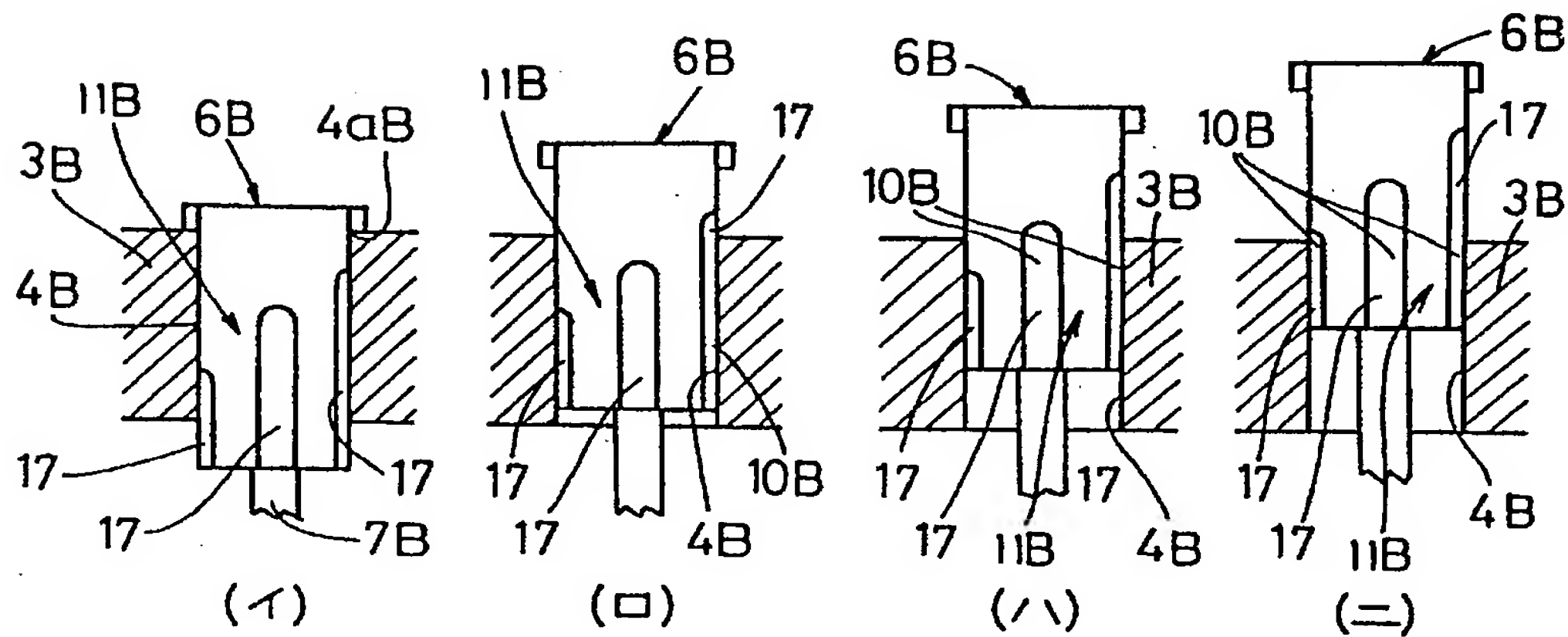
第4図



第6図



第 7 図



補正 昭 6 2 . 4 . 2 0

図面を次のように補正する。

第 5 図

